



東青の環境公共だより

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共

東青版第9号 令和3年11月11日
発行／東青地域環境公共調整会議事務局
〒030-0861 青森市長島二丁目10番3号
東青地域県民局地域農林水産部農村計画課
TEL 017-734-9992 FAX 017-734-8312

東青管内の取組

東青地域は、県都青森市と東津軽郡の5市町村で構成されています。青森市の市街地周辺では、近年ほ場整備が進み大規模稲作農業が展開されています。また、農村地域では稲作などの水田農業やりんごなどの果樹栽培がさかんに行われています。

このような地域の豊かな農林水産業を支え、本県における「攻めの農林水産業」の推進にもつなげるため、東青地域県民局地域農林水産部では、農業・林業・水産業の3分野で連携しながら「環境公共」の活動を行い、健全な水循環システムの再生・保全へ向けた取り組みを進めています。

環境公共とは？

青森県では、“農林水産業を支えることは地域の環境を守ることにつながる”との観点から、農林水産業の生産基盤や農山漁村の生活環境などの整備を行う公共事業を「環境公共」と位置付けています。

青森県環境公共ホームページ

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kankyokoukyou.html>)

今年度のイベント

◇ふるさと水土里ふれあいの旅 2021（環境公共推進プロジェクト）

令和3年6月23日（水）に青森市の六枚橋、後潟、四戸橋地区で環境公共推進プロジェクト「ふるさと水土里ふれあいの旅2021」を開催しました。

この活動は、東青地域農林水産部と青森北部、第二北部、奥内土地改良区が企画したイベントで、青森市立北小学校の5年生（18名）の児童を対象に、地域にある頭首工、ため池などの農業水利施設の見学や、その周りに生息する生き物の観察、環境公共の取組、水源林や水循環の役割について学ぶ野外学習会として開催されました。

特に、今回行ったイベントの中で好評だったのが、直線およそ900mの小用水路にアヒルのおもちゃを流して順位を競いながら、田んぼの中を流れる水路にはどれくらいの速さで水が流れているか体感してもらう「アヒル競争」でした。

このイベントでは、アヒルの順番が入れ替わる度に、子供達から大きな声援が上がり、白熱したレース展開に皆さん夢中になっている様子でした。

イベント後の解散式では、児童の代表から「水を大切にしていきたい」との感想が述べられ、今回の取組を通じて水の役割について興味を持っていただけたかと思えます。



集合写真



生き物観察



水質調査



後潟川頭首工の見学



アヒル競争

環境公共の取組

◇大堤地区 ため池等整備事業（ため池整備）

青森県では、自然災害から農村地域の住民の生命・財産を守ると共に、県土を保全し、安全・安心な農村づくりのため、農業水利施設の耐震化や洪水被害防止対策など、農村の防災・減災対策を推進しています。

特にため池については、「青森県ため池の安全・安心力アップ中期プラン」に基づき、防災・減災対策の優先度を明らかにした上でため池のハード対策を計画的に進めることとしています。

今回紹介する大堤ため池は、青森市浪岡にある農業用ため池で下流の水田約12ヘクタールの水源として利用されていますが、ため池堤体や取水施設の老朽化が著しいこと、洪水吐の能力不足や、地盤が軟弱であるため、地震発生時や豪雨の際に堤体や施設が損壊し下流の農地や施設に甚大な被害を与える危険性があることから、それらの災害を未然に防止することを目的とした改修工事を行っています。

現在は、地盤が軟弱な部分を改良するため、地質調査の結果から中層混合処理（パワーブレンダー工法）を採用し、地盤改良工事を行っており、その後、堤体の盛土工事を進めることとしています。

◆事業概要

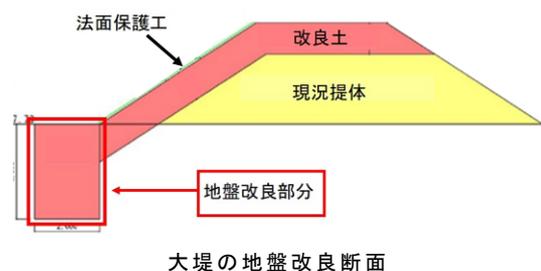
事業名：県営ため池等整備事業（ため池整備）
工期：令和元年度～令和4年度
事業費：209,000千円
事業内容：ため池改修工 1式



大堤の全景



パワーブレンダー工法による地盤改良の様子



大堤の地盤改良断面

最近の話題

◇上小国地区ビオトープ池の転落防止柵設置（中山間ふるさと・水と土保全対策事業）

令和3年8月2日（月）に外ヶ浜町上小国地区にあるビオトープ池で転落防止柵の設置を行いました。

このビオトープ池は、近年経年劣化により護岸や橋の損傷がみられることや、地元の子供たちが生き物観察を行う際に、安全性が問題となっていることから「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」を活用して毎年少しずつ上小国地区環境公共推進協議会の会員らによって補修活動を実施しています。

今回の作業では、2つあるビオトープ池の内1つの池の周りに穴あけ加工が施された杭を等間隔で打ち込んでいき、その木杭の穴にロープを通して転落防止柵を設置しました。

来年度は、残りのもう1つのビオトープ池の周りに転落防止柵を設置する予定で、これによって安全に地元の子供たちが、生き物の観察会を行えるようになることが期待されます。



設置作業



完成後